

イムブルビカ (イブルチニブ) マニュアル

第一版 2017

公益財団法人がん研究会有明病院
血液腫瘍科・薬剤部・看護部

イムブルビカ (イブルチニブ)

適応 ; 再発難治性 CLL / 再発難治性 MCL

1, 薬の作用; BTK 阻害剤

2, 服用の仕方 :

● CLL

初回投与量 1 日 3 カプセル (420mg) 1 回

減量について、

grade3 以上の非血液毒性が出現時、grade4 の血液毒性出現時は中止して grade1 以下に回復するまで休止し、回復した場合、最初の用量で再開する。再度同様の有害事象出現時は 1 カプセル減量する (280mg)。再度出現時は休止してもう 1 カプセル減量 (140mg) で再開可能。ただし、2 段階減量でも有害事象出現時は本剤を中止する

● MCL

初回投与量 1 日 4 カプセル (560mg) 1 回

減量について、

grade3 以上の非血液毒性が出現時、grade4 の血液毒性出現時は中止して grade1 以下に回復するまで休止し、回復した場合、最初の用量で再開する。再度同様の有害事象出現時は 1 カプセル減量する (420mg)。再度出現時は休止してもう 1 カプセル減量 (280mg) で再開可能。ただし、2 段階減量でも有害事象出現時は本剤を中止する

* ボリコナゾール、エリスロマイシンと併用は血中濃度上昇リスクあり、140mg で開始する

3, 副作用 ;

肝機能障害 (中等度以上の肝機能障害を有す例は投与禁忌)

HBV、VZV、結核菌 再活性化

B 型肝炎 ; リツキサンの準じる予防内服推奨

VZV ; ゴビラックス 1 T 予防内服

結核菌 ; old Tb の例に INH 予防投与するか?

出血リスク上昇 ; 生検や外科処置を必要とする場合、一週間前後休止を推奨

不整脈 (Af) ;不整脈あるひとは定期的な心電図を。ないひとも定期的な心エコーでの心不全の有無確認を。

骨髄抑制

嘔気、食欲減退、下痢、倦怠感

皮疹

筋肉痛、骨痛

腫瘍崩壊症候群

腎機能障害 ; CCR>30 では減量基準なし CCR<30 ではデータがあまりない。

4, 基準併用薬

ゾビラックス、バクタ

HBV-DNA 陽性 ; バラクルード

old Tb; INH??

併用注意薬 ; PPI, フルコナゾール

4, 導入方法について ; CLL: 原則入院 1 週間ぐらいして導入する
MCL; 2 月下旬までは外来導入

5, 注意点 ;

CYP3A4 阻害の強い薬剤との併用で重篤な肝機能障害の報告あり

→フルコナゾール、PPI 内服注意

マクロライド系抗生物質 (エリスロマイシン)、ポリコナゾール併用時は 140mg で開始

グレープフルーツ禁 セビリアオレンジ禁 (だいたいらしいです)

内服開始時、一過性に末梢血リンパ球増多あり (局所でこわれたリンパ球が末梢血に流入するといわれている)

内服を途中で自己判断で中止しないよう指導する→急性増悪のリスクあり

6, 医療費 ;

高額医療療養費申請が必要。